

外国語活動指導案

Hi, friends! 2 Lesson 5

"Let's go to Italy."

「ツアーガイドになろう」

この指導案は、4時間分全てALTや中学校教員などとのチーム・ティーチングを想定したものになっています。(尚、第1時は担任単独の指導案もあります。第4時は3人の指導者による指導案です)



外国語活動指導案

京都市立〇〇〇〇小学校

指導者 学級担任 〇〇 〇〇

▽▽ ▽▽

1 日時 平成〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時 (: ~ :)

2 学年・組 第6学年 〇 組 (〇 名)

3 場所 6年 〇 組教室

4 単元 “Let’s go to Italy.” 「ツアーガイドになろう」
(“Hi, friends!” 2 Lesson 5 参照)

5 単元目標

- ・ 自分の思いが友だちに伝わるようにおすすめの国について発表したり, 友だちの発表を積極的に聞いたりしようとする。
- ・ 行きたい国について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- ・ 国の名前や有名な場所の表現の特徴を知り, 世界では様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。

6 単元について

本単元では, Let’s go to ~. や Where do you want to go?, I want to go to ~. などの表現に慣れ親しみ, 単元の終末では, 慣れ親しんだ表現を用いて, 互いのおすすめの国やその国の名所や文化, 有名なものなどを友だちと紹介し合う活動を行う。一人一人が自分のおすすめの国についてまとめ, これまでの外国語活動で慣れ親しんだ表現も活用しながら, 友だちにその国の紹介をする。この単元の活動を通して, 世界にはたくさんの国があることやそれぞれの国の文化, 日本との違いに気付いて, 世界の国々への興味や関心を広げるだけでなく, 自分たちが暮らす日本の国の良さについても再発見できる活動としたいものである。

7 単元の評価規準

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 【関心・意欲・態度】

- ・ 自分の思いが友だちに伝わるように工夫しておすすめの国について発表したり聞いたりしている。

(2) 外国語への慣れ親しみ 【慣れ親しみ】

- ・ 友だちと行きたい国について尋ねたり言ったりしている。

(3) 言語や文化に関する気付き 【気付き】

- ・ 国の名前や有名な場所の表現の特徴に気付いている。
- ・ 世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。

8 本単元における小小連携の視点

6年生では Lesson 5 を今年度二つめの「小小連携共通単元」として位置付け、複数の小学校が同じ学習指導案を共有して指導を進めたいと考える。

特に、一つめの「小小連携共通単元」Lesson 3 で、テレビ会議システムを通して交流した児童が、本単元では実際に相手と出会い、英語を使ったコミュニケーション活動を行う機会を設けることとする。そこで、第1時では、テレビ会議を通して、本単元の終末の活動について両校の児童に同時に知らせる活動を取り入れる。そうすることによって、児童が本単元の終末までの学習に見通しをもって、活動に取り組むことができると思われる。また、この単元の最後に、慣れ親しんだ表現を使って誰とコミュニケーションを図るのかを明確にすることで、それまでの活動の中でも児童が相手を意識しながら学習活動に取り組むことができると思う。

おすすめの国を紹介する際には、本単元で扱う表現だけではなく、前回の「小小連携共通単元」で扱った I can ~. という表現も使いながら、おすすめの国の紹介をすることで「小小連携共通単元」の連続性も図りたい。

更に、単元の終末で児童が実際に出会って交流する場を、可能であれば、中学校で設けたい。そうすることで、児童が中学校との接続をより意識し、中学校を身近に感じることができるようになると思う。また、中学校を会場に交流の場を設けることは、より多くの中学校教員が複数の小学校児童の実態を知る機会となるだけでなく、小学校外国語活動に対する理解を図る機会にもなると考える。中学校の教員や生徒が授業に関わることも想定し、小小連携から小中連携へと接続する機会としたい。

事情により、中学校における交流ができない場合は、小学校を会場に設定することも考えられる。異なる小学校の子どもたちが、それぞれの学校の授業で慣れ親しんできた英語表現を用いて、実際に対面してコミュニケーション活動を行うことは、子どもたちが普段の学習を活かすチャンスになると考えられるからである。今回の外国語活動の取組を通して、同じ中学校に進学する子どもたち同士が学校の枠を超え、将来につながる新しい友だちを作るきっかけとなることを願っている。

9 単元計画（全4時間） ※㊦マーク及び下線部は、小小連携の視点に基づく活動とする。

時	目標と主な活動	評価の重点			使用表現	
		関	慣	気	表現	語彙
1	<p>世界の国の名前や有名な場所の表現の特徴を知り、世界の人々が様々な生活をしていることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Play: 国の名前や国旗について知る。 ・ p.20 Let's Listen: 音声を聞いてわかったことを話し合う。 ㊦ Let's Listen: <u>テレビ会議システムを通して、先生たちの行きたい国はどこかを聞く。</u> ・ Let's Chant: オリジナルチャンツ“Where do you want to go?”を言う。 ・ 振り返りをする。 			○ ○	Hello. Good morning/afternoon. How are you? I'm ~. Where do you want to go? I want to go to ~. Let's go to Italy. I can ~. Good bye. See you.	国名 ; Japan, America, India, Italy, France, Egypt, Brazil, China, Australia, Greece, Spain, Russia, UK, Canada, Korea, Switzerland 動作 ; eat, see go, play
2	<p>国名や行きたい国を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant: オリジナルチャンツ“Where do you want to go?”を言う。 ・ Let's Play: 国旗当てクイズをする。 ・ Let's Play: 国旗カルタ取りゲームをする。 ・ p.19 Let's Listen: 音声を聞いて、どの国の世界遺産かを考える。 ・ 友だちに紹介する国を決め、情報を集めておくことを伝える。 ・ 振り返りをする。 			○		
3	<p>おすすめの国を紹介する表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant: オリジナルチャンツ“Where do you want to go?”を言う。 ・ Let's Play: ラッキーカードゲームをする。 ・ Activity: おすすめの国を紹介するカード作りをして、そのカードを使った紹介の仕方に慣れる。 ・ 振り返りをする。 			○		
4	<p>ツアーガイドになって、友だちとおすすめの国を積極的に交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant: オリジナルチャンツ“Where do you want to go?”を言う。 ㊦ Activity: <u>友だちとおすすめの国を互いに紹介し合う。</u> ・ 紹介を聞いて、行きたいと思った国を交流する。 ・ 振り返りをする。 			○		

<第1時の活動> (担任単独での指導)

(1) 目 標 世界の国の名前や有名な場所の表現の特徴を知り，世界の人々が様々な生活をしていることに気付く。

(2) 展 開 ※網掛け部分は小小連携の視点に基づく活動とする

時	児童の活動	担任の活動	・指導上の留意点 ●準備 ◎評価の視点【観点】〈方法〉
3分	○挨拶をする。 ・名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/OK /hungry/sleepy. ・本時の活動について知る。	・児童と挨拶をしながら，名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/OK/ hungry/sleepy. ・本時の活動の流れを伝える。	●児童用名札 ・相手の目を見ながら，自分の気持ちを伝えることが大切であることを伝える。 ・児童が本時の活動の見通しがもてるようにする。
	世界のいろいろな国の国旗やその国の有名なものについて知ろう		
10分	○世界の国の名前や国旗について知る。	・児童の知っている国名を板書していく。 ・児童から出てきた国の国旗とその国の位置について確かめる。 ・児童から出てきた国名を英語で知らせる。 ・その国の国旗はどれか，これまで外国語活動で出会った語彙や表現でヒントを出す。 ・本単元の終わりには，2校の児童が会う機会を設け，児童が実際にコミュニケーション活動を行うことを知らせる。	●掲示用国名カード，国旗カード，拡大した世界地図 ・児童から出てきた国名が日本語での言い方と英語での言い方に違いがあることに気付けるよう，電子黒板の音声を聞く機会を可能な限り多くするようにする。 ・拡大した世界地図の中に出てきた国がどこにあるのかわかるように示す。 ・国旗に使われている色やデザイン，形などの英語を使って，児童がどこの国の国旗かを考えられるように，ヒントを出す。 ・単元のゴールの活動を知らせることにより，児童が単元を通して意欲をもって活動できるようにする。

10分	<p>○p.20 Let's Listen の音声を聞いて、わかったことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を操作し、繰り返し音声を聞かせたり、絵カードでヒントを出したりする。 ・日本語での言い方と英語での言い方の違いに児童が気付くように、どこを聞いたらよいのかを示し、児童が聞き取りやすいよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電子黒板・フランスの国旗、名所や食べ物の絵カード ・一度音声を流してから、児童が何を聞きとればよいのかを示し、聞く視点を与える。 ・特に、エッフェル塔やエスカルゴの英語での言い方に注意をして聞くことができるようにする。 ◎世界の国や有名な場所の言い方が英語と日本語では異なっていることに気付いている。 【気付き】〈発言観察, 行動観察, 振り返りカード点検〉
12分	<p>○テレビ会議システムを通して、先生たちの行きたい国はどこかを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議システムを活用して、交流する学校とつなぐ。 ・それぞれの学級の担任の先生が、どこの国に行きたいのかをインタビューし合う。(T2は交流する学校の先生) <p>T1: Hello, ○○sensei. T2: Hello, ▽▽sensei. T1: How are you today? T2: I'm good, thank you. And you? T1: I'm happy, thank you. ○○sensei, where do you want to go? T2: Umm... Yes! I want to go to China. Let's go to China. You can see <i>Banri-no choujou</i>. You can see pandas. You can eat <i>gyouza</i>. T1: Oh, I like pandas. I want to go to China.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビ会議システム, 行きたい国の国旗, 名所や食べ物の写真・絵カード ・テレビ越しに, 全員で挨拶をする。 ・お互いが同じ学習をしていることを意識できるようにする。 ・最初は, T2の先生の行きたい国を教員が尋ねる。次に, それぞれの担任が支援をしながら, 全員で隣の学校の先生の行きたい国を尋ねるようにする。 ・行きたい理由は, You can ~. を使って言うようにする。 ・先生の行きたい国を聞いて, 世界には様々な名所や食べ物, 文化があることに気付けるようにする。

			<p>◎世界には様々な名所や食べ物があり, それぞれの良さや違いの中で人々が様々な生活をしていることに気付いている。</p> <p>【気付き】〈発言観察, 行動観察, 振り返りカード点検〉</p>
5分	<p>○Let's Chant オリジナルチャンツ “Where do you want to go?”を言う。</p>	<p>・チャンツのデモンストレーションをする。</p> <p>Where do you want to go? I want to go to Italy. Let's go to Italy. Let's go to Italy. You can eat pizza. You can see soccer games. Go, go, go, go! Let's go!!</p>	<p>●電子黒板 p.12 絵カード</p> <p>・チャンツの音楽は, Hi, friends!2 の Lesson 3 p.12 のものを使うこととする。</p> <p>・初めてなので, 本時ではまず行きたい場所を尋ねる言い方 Where do you want to go?を繰り返し言えるようにする。</p>
5分	<p>○振り返りをする。</p> <p>○挨拶をする。 Good bye. Thank you. See you.</p>	<p>・振り返りの視点を与え, 振り返りカードを基に本時を振り返るようにする。</p> <p>・児童の振り返りカードの中で, 本時のめあてに合ったものを紹介し, 学級全体に広げる。</p> <p>・挨拶をする。 Good bye. Thank you. See you.</p>	<p>●振り返りカード</p> <p>・本時のめあてに合った学習の振り返りができるように, する。</p> <p>・机間指導をして, 多くの児童の振り返りが交流できるようにする。</p>

<第1時の活動> (ティーム・ティーチングでの指導)

(1) 目 標 世界の国の名前や有名な場所の表現の特徴を知り，世界の人々が様々な生活を
していることに気付く。

(2) 展 開 ※網掛け部分は小小連携の視点に基づく活動とする

時	児童の活動	T 1 (担任)の活動	T 2の活動	・指導上の留意点 ●準備 ◎評価の視点【観点】〈方法〉
3 分	○挨拶をする。 ・名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/OK/ /hungry/sleepy. ・本時の活動につ いて知る。	・児童と挨拶をしな がら，名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/OK/ hungry/sleepy. ・本時の活動の流れ を伝える。	・児童と挨拶をしな がら，名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/OK/ hungry/sleepy. ・本時の活動の流れ を伝える。	●児童用名札 ・相手の目を見ながら，自分の 気持ちを伝えることが大切 であることを伝える。 ・児童が本時の活動の見通し がもてるようにする。
世界のいろいろな国の国旗やその国の有名なものについて知ろう				
10 分	○世界の国の名前 や国旗について 知る。	・児童の知ってい る国名を板書し ていく。 ・児童から出てきた 国の国旗とその国 の位置について確 かめる。	・児童から出てきた 国名を英語で知 らせる。 ・児童から出てきた 国の国旗とその 国の位置につい て確かめる。 ・その国の国旗はど れか，これまで外 国語活動で出合 った語彙や表現 でヒントを出す。	●掲示用国名カード，国旗カ ード，拡大した世界地図 ・T 1は，児童から出てきた国 名について，日本語での言い 方とT 2が言う英語での言 い方の違いに気付くよう，T 2の英語を聞く機会をなる べく多く作るようにする。 ・拡大した世界地図の中に出 てきた国がどこにあるのか わかるように示す。 ・国旗に使われている色やデ ザイン，形などの英語を使っ て，児童がどこの国の国旗か を考えられるように，ヒント を出す。 ・単元のゴールの活動を知ら せることにより，児童が単元 を通して意欲をもって活動 できるようにする。
		・本単元の終わりには，2校の児童が会う 機会を設け，児童が実際にコミュニケー ション活動を行うことを知らせる。		

10分	<p>○p.20 Let's Listen の音声を聞いて、わかったことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を操作し、音声を聞かせたり、絵カードでヒントを出したりする。 ・日本語での言い方と英語の言い方の違いに児童が気付くように、何度も音声を聞かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声のどこを聞いたらよいのかを示し、児童が聞き取りやすいよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電子黒板・フランスの国旗、名所や食べ物の絵カード ・一度音声を流してから、児童が何を聞きとればよいのかを示し、聞く視点を与える。 ・特に、エッフェル塔やエスカルゴの英語での言い方に注意をして聞くことができるようにする。 ◎世界の国や有名な場所の言い方が英語と日本語では異なっていることに気付いている。 【気付き】〈発言観察，行動観察，振り返りカード点検〉
12分	<p>○テレビ会議システムを通して、先生たちの行きたい国はどこかを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議システムを活用して、それぞれの担任をはじめ、T2の先生が、どの国に行きたいのかをインタビューし合う。 T1: Hello, ○○sensei. T2: Hello, ▽▽sensei. T1: How are you today? T2: I'm good, thank you. And you? T1: I'm happy, thank you. ○○sensei, where do you want to go? T2: Umm... Yes! I want to go to China. Let's go to China. You can see <i>Banri-no choujou</i>. You can see pandas. You can eat <i>gyouza</i>. T1: Oh, I like pandas. I want to go to China. 	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビ会議システム，行きたい国の国旗，名所や食べ物の写真・絵カード ・テレビ越しに，全員で挨拶をする。 ・お互いが同じ学習をしていることを意識できるようにする。 ・最初は，T2の先生の行きたい国を教員が尋ねる。次に，それぞれの担任が支援をしながら，全員で隣の学校の先生の行きたい国を尋ねるようにする。 ・行きたい理由は，You can ～. を使って言うようにする。 ・先生の行きたい国を聞いて，世界には様々な名所や食べ物，文化があることに気付けるようにする。 	

			◎世界には様々な文化があり、それぞれの良さや違いの中で人々が様々な生活をしていることに気付いている。 【気付き】〈発言観察, 行動観察, 振り返りカード点検〉
5分	○Let's Chant オリジナルチャンツ “Where do you want to go?”を言う。	<ul style="list-style-type: none"> ・T 2と一緒にチャンツのデモンストレーションをする。 ・T 1と一緒にチャンツのデモンストレーションをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電子黒板 p.12 絵カード ・チャンツの音楽は, Hi, friends!2 の Lesson 3 p.12 のものを使う。 ・児童は初めてチャンツを行うので, 本時では行きたい場所を尋ねる言い方 Where do you want to go?を繰り返し言えるようにする。
5分	○振り返りをする。 ○挨拶をする。 Good bye. Thank you. See you.	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの視点を与え, 振り返りカードを基に本時を振り返るようにする。 ・児童の振り返りカードの中で, 本時のめあてに合ったものを紹介し, 学級全体に広げる。 ・挨拶をする。 <p>Good bye. Thank you. See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返りカード ・本時のめあてに合った学習の振り返りができるように, 助言する。 ・T 1 と T 2 で机間指導をして, 多くの児童の振り返りが交流できるようにする。

第1時 板書計画

世界のいろいろな国の国旗や
その国の有名なものについて知ろう

本時の流れ

<u>知っている国</u>						
アメリカ						} 各国の名所 や名物の写 真など
ドイツ						
オーストラリア						
ブラジル						
イギリス						
・						
・						
・						

第1時 電子黒板

すぐに画面が切り替えられるように、起動しておく。

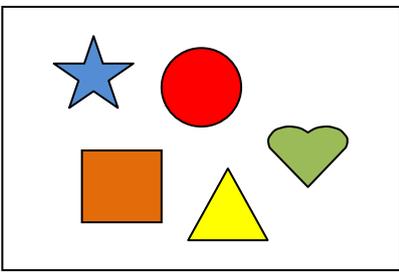
- ① テレビ会議システム
- ② 光京都ネット学習用ページ「みんなの学習」
教科学習用ソフト→Hi, friends!2 Lesson 3 p.12

<第2時の活動>

(1) 目 標 国名や行きたい国を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

(2) 展 開

時	児童の活動	T 1 (担任)の活動	T 2の活動	・指導上の留意点 ●準備 ◎評価の視点【観点】〈方法〉
3分	○挨拶をする。 ・名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/O.K. /hungry/sleepy. ・本時の活動について知る。	・児童と挨拶をしながら,名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/O.K./ hungry/sleepy. ・本時の活動の流れを伝える。	・児童と挨拶をしながら,名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/O.K./ hungry/sleepy. ・本時の活動の流れを伝える。	●児童用名札 ・相手の目を見ながら,自分の気持ちを伝えることが大切であることを伝える。 ・児童が本時の活動の見通しがもてるようにする。
8分	○Let's Chant: オリジナルチャンツ "Where do you want to go?"を言う。	・T2と一緒にチャンツのデモンストレーションをする。 Where do you want to go? I want to go to Italy. Let's go to Italy. Let's go to Italy. You can eat pizza. You can see soccer games. Go, go, go, go! Let's go!!	・T1と一緒にチャンツのデモンストレーションをする。	●Hi, friends!2 デジタル教材 p.12 絵カード ・チャンツの音楽は, Hi, friends!2 の Lesson 3 p.12 のものを使う。 ・前時で行きたい場所を尋ねる言い方 Where do you want to go?を中心に言っているので, 本時ではチャンツ全体に慣れるようにする。 ・児童の様子を見ながら, 可能であれば, 行きたい国を入れ替えて言ってもよい。
	○本時の活動のめあてを知る	・今日の授業のめあてを知らせる。		
	国名や行きたい国を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもう			
		・単元の最後の活動では, チャンツの表現を使って隣の学校と交流することを知らせる。		・単元の終末の活動を再度確認し, 児童が単元を通して意欲をもって活動できるようにする。

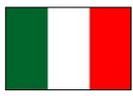
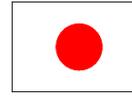
<p>8分</p>	<p>○国当てクイズをする。</p>	<p>・国当てクイズの仕方を知らせ、児童が国の名前を答えられるようにする。</p> <p>T 2: What shape do you like?</p> <p>S 1: I like star.</p> <p>T 2: O.K. Open star.</p> <p>What country?</p> <p>S 2: Hint, please.</p> <p>T 2: Sure. What shape do you like?</p> <p>S 2: Circle, please.</p> <p>T 2: Open, please. What country?</p> <div data-bbox="555 786 1010 1104" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  </div>	<p>●パワーポイント</p> <p>・児童の指定したいくつかの形を抜くことによって、後ろに隠れた国旗がどの国のものかを当てる。</p> <p>・クイズの仕方は、児童が理解できるように日本語で伝える。</p> <p>・国旗がわかったら、What do you want to go? I want to go to ~.に当てはめて言うようにする。</p>
<p>10分</p>	<p>○国旗カルタ取りゲームをする。</p>	<p>・Where do you want to go?と児童が尋ね、指導者がI want to go to ~.と答えた国の国旗を取るというルールを知らせる。</p> <p>・T 2と交代しながら、取るカードを言う。</p>	<p>●国旗カルタカード</p> <p>・慣れてきたら、取るカードの指名を児童が行ってもよい。</p> <p>・ペアを作って競わせるなど、カードを取れない児童も意欲的に参加できるようにルールを工夫する。</p>

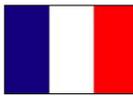
			◎行きたい国を尋ねる表現を言ったり、行きたい国を聞き取ったりしてカードを取っている。 【慣れ親しみ】＜行動観察, 発言観察＞	
8分	○p.19 Let's Listen: どの国の世界遺産か考える。	・児童の活動を見ながら、活動に取り組みにくい児童には、どこを聞いたらよいのかなど聞く視点を示して支援をする。	・電子黒板を操作する。 ・児童にとって聞き取りにくいような表現について、その言い方や発音の仕方を繰り返して示す。	●Hi, friends!2 デジタル教材 p.19 ・何度も音声を聞かせるようにする。 ・活動時間によっては、全ての場所について取り上げなくてもよい。
3分	○自分の紹介したい国を決める。	・これまでの活動の中で、児童が友だちに紹介したいと考える国を記入させる。 ・その国について、次時に作成する紹介カードに乗せる情報（名所、食べ物など）を集めておくように伝える。		・指導者は、児童が紹介したいと考える国を把握しておき、次時までにはそれらの国旗の準備をしておく。
5分	○振り返りをする。 ○挨拶をする。 Good-bye. See you.	・行きたい国を尋ねたり答えたりする表現について慣れ親しめたかどうか、振り返りカードに書くようにする。 ・児童の振り返りカードの記述の中で、本時のめあてに合ったものを、紹介する。 ・挨拶をする。 Good-bye. See you.		●振り返りカード ・振り返りの視点を示し、本時のめあてにあった振り返りができるように助言する。 ・どんなことを書けばよいのか、他の児童のモデルになるものを全体に示す。

第2時 板書計画

国名や、行きたい国を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しもう

本時の流れ

		
		
<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>
<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>
<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>

			
<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>
			
<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>	<div style="width: 40px; height: 40px; border: 1px solid black;"></div>

<電子黒板>



すぐに画面が切り替えられるように、起動しておく。

- ① テレビ会議システム
- ② 光京都ネット学習用ページ「みんなの学習」
教科学習用ソフト→Hi, friends!2 Lesson 3 p.12
Lesson 5 p.19

<第3時の活動>

(1) 目 標 おすすめの国を紹介する表現に慣れ親しむ。

(2) 展 開

時	児童の活動	T 1 (担任)の活動	T 2 の活動	・指導上の留意点 ●準備 ◎評価の視点【観点】〈方法〉
5分	○挨拶をする。 ・名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/O.K. /hungry/sleepy. ・本時の活動について知る。 ○本時の活動のめあてを知る	・児童と挨拶をしながら、名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/O.K./ hungry/sleepy. ・本時の活動の流れを伝える。 ・今日の授業のめあてを知らせる。	・児童と挨拶をしながら、名札を配る。 Hello. How are you? I'm good/O.K./ hungry/sleepy. ・本時の活動の流れを伝える。	●児童用名札 ・相手の目を見ながら、自分の気持ちを伝えることが大切であることを伝える。 ・児童が本時の活動の見通しがもてるようにする。 ・単元の終末の活動を再度確認し、本時が次時につながる時間であることを児童が意識できるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 行きたい国を尋ねたり答えたりする表現を使って、友だちとおすすめの国を紹介し合おう </div>				
7分	○Let's Chant: オリジナルチャンツ "Where do you want to go?"を言う。	・T 2 と一緒にチャンツのデモンストレーションをする。 Where do you want to go? I want to go to Italy. Let's go to Italy. Let's go to Italy. You can eat pizza. You can see soccer games. Go, go, go, go! Let's go!!	・T 1 と一緒にチャンツのデモンストレーションをする。	●Hi, friends!2 デジタル教材 p.12 絵カード ・チャンツの音楽は、Hi, friends!2 の Lesson 3 p.12 のものを使う。 ・速さを変えたり、これまで出てきた国に入れ替えたりして、児童が何度も繰り返しチャンツの表現が言えるようにする。 ・You can go to ~.や You can eat ~. You can see ~.の表現を入れ替えて、どの表現にも慣れ親しめるようにする。

8分	○ラッキーカードゲームをする。	<p>・ラッキーカードゲームの仕方を知らせる。</p> <p>《ラッキーカードゲームのルール》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの真ん中に、カードを広げて置く。 ・ジャンケンを行い、勝った人は右隣の人に、Where do you want to go?と尋ねる。 ・尋ねられたら、I want to go to ～.と答え、そのカードを取ってHere you are.と言って渡す。 ・もらった人は、Thank you.と言って、カードをもらう。次は、更に右隣の人に尋ねる。 ・それを繰り返し、カードがなくなるまで続ける。 ・全てのグループが終了したら、指導者がラッキーカードを発表し、そのカードをもっていた人が勝ちとなる。 <p>・T 1 と T 2 でデモンストレーションを示す。</p> <p>T 1 : Where do you want to go? T 2 : I want to go to America. T 1 : America? Good. (コメントを言う) T 2 : Here you are. (と言って、そのカードを取って渡す) T 1 : Thank you. T 2 : You are welcome.</p>	<p>●国旗カルタカード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの声が小さかったり聞き取りにくかったりした場合には、One more time, please.と言ったり、Big voice, please.と言ったりして、もう一度尋ねてもよいことを伝える。 ・カードがなくなるまで続ける時間が十分ない場合は、指導者の合図があるまで続けることとする。 ・相手の言ったことに対して、必ず何かコメントをするようにする。 Ex.)Good/Nice/Me, too. ・うまくやり取りしている児童を紹介し、モデルを示す。
		<p>・児童の様子をみながら、ゲームに参加しにくい児童と一緒に表現を言ったり、うまくやり取りしている児童を全体に紹介したりする。</p>	<p>・机間指導をしながら、児童の行きたい国を尋ねたり答えたりする表現の言い方を支援する。</p>
		<p>・最後にラッキーカードを発表し、そのカードをもっていた児童を紹介する。</p>	

<p>20分</p>	<p>○おすすめの国を紹介するためのカード作りをして、友だちと互いに紹介し合う</p>	<p>・T 1 と T 2 が作成したカードを示し、カードの作り方を知らせる</p> <div data-bbox="571 367 1008 943" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>Let's go to </p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </table> <p>ES 6- Name _____</p> </div> <p>・T 1 と T 2 で紹介する側とされる側になって、デモンストレーションをする。</p> <p>T 1 : Hello. I'm Yamada Taro. T 2 : Hello. T 1 : Where do you want to go? Let's go to America. You can go to Grand Canyon. You can see baseball games. You can eat a big hamburger. Thank you.</p> <p>T 2 : I want to go to America. I like hamburgers, too. Thank you.</p>							<p>●おすすめの国紹介カード・貼付用「見る・行く・食べる」カード・貼付用国旗カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2時のアンケートに基づいて児童の紹介する国の国旗を事前に用意しておく。 ・児童が事前に準備している紹介する国の有名なものの写真を貼ったり、イラストを描いたりして、簡単に作成するように伝える。 <p>・カードが完成していない児童も、できているところまででよいこととする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツの表現に従って、グループ内で紹介し合う。 ・黒板に紹介する際の簡単な手順を示しておく。 ・最後に Thank you. と言うことを知らせる。 <p>・グループの全員が終わったら、友だちが紹介した国の中でどの国に行きたいかを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず行きたい理由を言うようにする。可能であれば、英語を使用するが、難しい場合は日本語でよい。 <p>◎紹介する国の名前やその国の特色を簡単な英語で表現したり聞いたりしている。</p> <p>【慣れ親しみ】〈行動観察、発言観察〉</p>
									
									
									

5分	<p>○振り返りをする。</p> <p>○挨拶をする。 Good-bye. See you.</p>	<p>・行きたい国を尋ねたり答えたりする表現を使って友だちと紹介し合えたかどうか、振り返りカードに書くようにする。</p> <p>・児童の振り返りカードの記述の中で、本時のめあてに合ったものを、紹介する。</p> <p>・挨拶をする。 Good-bye. See you.</p>	<p>●振り返りカード</p> <p>・振り返りの視点を示し、本時のめあてにあった振り返りができるようにする。</p> <p>・次時は隣の学校の友だちとやりとりすることを伝える。</p>
----	--	--	---

第3時 板書計画

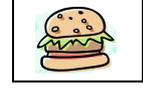
行きたい国を尋ねたり答えたりする表現を使って、友だちとおすすめの国を紹介し合おう

本時の流れ







Let's go to 

6- Name _____

①あいさつ
②自己紹介
③ 国の紹介
④ Thank you.

- 18 -

第3時 電子黒板



すぐに画面が切り替えられるように、起動しておく。
 光京都ネット学習用ページ「みんなの学習」
 教科学習用ソフト→Hi, friends!2 Lesson 3 p.12

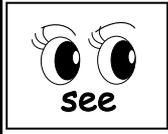
◎ おすすめの国紹介カードの記入の仕方

「見る」「行く」
「食べる」の
カードを貼る。

自分の紹介する
国の国旗を貼る。

その国の有名な
ものについて写
真を貼ったり、イ
ラストを描いた
りする。

Let's go to

 see	

6- Name _____

<第4時の活動>

(1) 目 標 ツアーガイドになって、友だちとおすすめの国を積極的に交流する。

(2) 展 開 ※網掛け部分は小小連携の視点に基づく活動とする

時	児童の活動	T 1 (担任) T 2 (担任) の活動	T 3 の活動	・指導上の留意点 ●準備 ◎評価の視点【観点】〈方法〉
3 分	○挨拶をする。 Hello. How are you? I'm good/O.K./ /hungry/sleepy. ・本時の活動の流れを知る。 ○本時の活動のめあてを知る	・児童と一緒に元気よく挨拶をする。 Hello. How are you? I'm good/O.K./ hungry/sleepy. ・本時の活動の流れを伝える。 ・今日の授業のめあてを知らせる。	・2校の児童の間に立ち、両校の児童をつなぐ役割をする。 ・挨拶をする。 Hello. How are you? I'm good/O.K./ hungry/sleepy. ・本時の活動の流れを伝える。	●児童用名札 ・予め名札は児童が身につけておくこととする。 ・簡単な自己紹介と挨拶を行う。相手の目を見ながら、自分の気持ちを伝えることが大切であることを伝える。 ・T 1・T 2は、自校の児童ではない数人の児童と個別に挨拶をする。 ・初めて出会う児童の気持ちをほぐすように、リラックスした雰囲気作りをする。 ・児童が本時の活動の見通しがもてるようにする。
ツアーガイドになり、友だちにおすすめの国についてわかりやすく伝えよう				
5 分	○Let's Chant: オリジナルチャンツ "Where do you want to go?"を言う。	・T1 が授業を進める ・T2 は自校の児童と一緒にチャンツを言う。 Where do you want to go? I want to go to Italy. Let's go to Italy. Let's go to Italy. You can eat pizza. You can see soccer games. Go, go, go, go! Let's go!	・チャンツに当てはめる国名や英語の言い方を、絵カードを使って確認する。	●Hi, friends!2 音声教材 p.12・国旗絵カード・時計CD プレーヤー・ホワイトボード ・チャンツの音楽は、Hi, friends!2 の Lesson 3 p.12 のものを使うこととする。 ・学校ごとにチャンツを交互に言ったり速さを変えたりして、児童が自信をもってチャンツの表現が言えるようにする。 ・You can go to ~.や You can eat ~. You can see ~.の表現を入れ替えて、どの表現も言えるようにする。

15分	<p>○友だちと互いのおすすめの国を紹介し合う。</p> <p>○紹介を聞いて、行きたいと思った国を交流する。</p>	<p>・T1 が主に授業を進め、T2・T3 と共に発表のデモンストレーションを行う。</p> <p>T 1 : Hello. I'm Yamada Taro. T 2 : Hello. T 1 : Where do you want to go? Let's go to America. You can go to Grand Canyon. You can see baseball games. You can eat a big hamburger. Thank you.</p> <p>T 3 : Hello. I'm Tanaka Hanako. T 2 : Hello. T 3 : Where do you want to go? Let's go to China. You can go to <i>banri no chojou</i>. You can see pandas. You can eat <i>gyoza</i>. Thank you.</p> <p>All : Where do you want to go?</p> <p>T 2 : Hello. I'm Sato Yoshiko. I want to go to America. I like hamburgers. Thank you.</p> <p>・1つのグループの発表の持ち時間と移動の仕方, 3グループの発表が終わった時点で元の場所に戻ることを知らせる。</p> <p>・指導者は児童の活動の様子を見ながら, 活動に参加しにくい児童と一緒に英語を言ったり, 活動に参加しながら児童の活動の様子でよい姿を認め, 他の児童に広げたりする。</p> <p>・前半終了の合図をする。</p>	<p>●おすすめの国紹介カード</p> <p>・紹介する側は, 必ず挨拶と自分の名前を最初に言う。紹介の後には, Thank you.と言うことを確かめる。</p> <p>・聞いている方も挨拶をされたら, 挨拶を返すようにする。</p> <p>・グループ全員の紹介が終わったら, 再度 Where do you want to go?と全員で尋ねる。</p> <p>・聞いている児童は, 紹介してもらった国の中でどの国に行きたいかを順に答える。</p> <p>・行きたい国を伝える児童も, 初めに名前を言う。また, 必ず行きたい理由を言うようにする。可能であれば, 英語を使用するが, 難しい場合は日本語でよい。</p>
-----	---	---	--

5分	<ul style="list-style-type: none"> 紹介する際に大切にポイントを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> T2が中心になって授業を進める。 英語を使ったコミュニケーションのよい姿として、児童の中からモデルを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を使ったコミュニケーションのよい姿として、児童の中からモデルを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 中間評価を行い、児童の活動の中からモデルを示すことを通して、コミュニケーションを図る際に大切なポイントに児童が気付くようにする。それらを確認することで、児童が次の活動への指標をもてるようにする。
12分	<ul style="list-style-type: none"> 役割を交代して再度、友だちと互いのおすすめの国を紹介し合い、行きたい国を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者は、児童がホワイトボードに示したポイントを意識できるように、机間指導をしながらアドバイスをする。 後半終了の合図をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友だちに自分のおすすめの国の良さが伝わるように工夫しながらその国を紹介したり、友だちの紹介に興味をもって聞いたりしている。【関心・意欲・態度】〈発言観察・行動観察〉 	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りをする。 ○挨拶をする。 Good-bye. See you. 	<ul style="list-style-type: none"> T1とT2は、他校の児童のコミュニケーションの様子を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> T3を中心に授業を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの視点を示し、本時のめあてに応じた振り返りができるように助言する。 振り返りカードは、それぞれ教室に戻ってから書くようにする。
<ul style="list-style-type: none"> おすすめ国を紹介する活動を通して、考えたことを・感じたことを交流する。 2校の児童数人ずつの感想が出るように進める。 指導者それぞれが認めた児童のよかった点を全体に知らせる。 挨拶をする。 Good-bye. See you. 				

第4時 板書計画

ツアーガイドになり、
友だちにおすすめの国についてわかりやすく伝えよう

本時の流れ





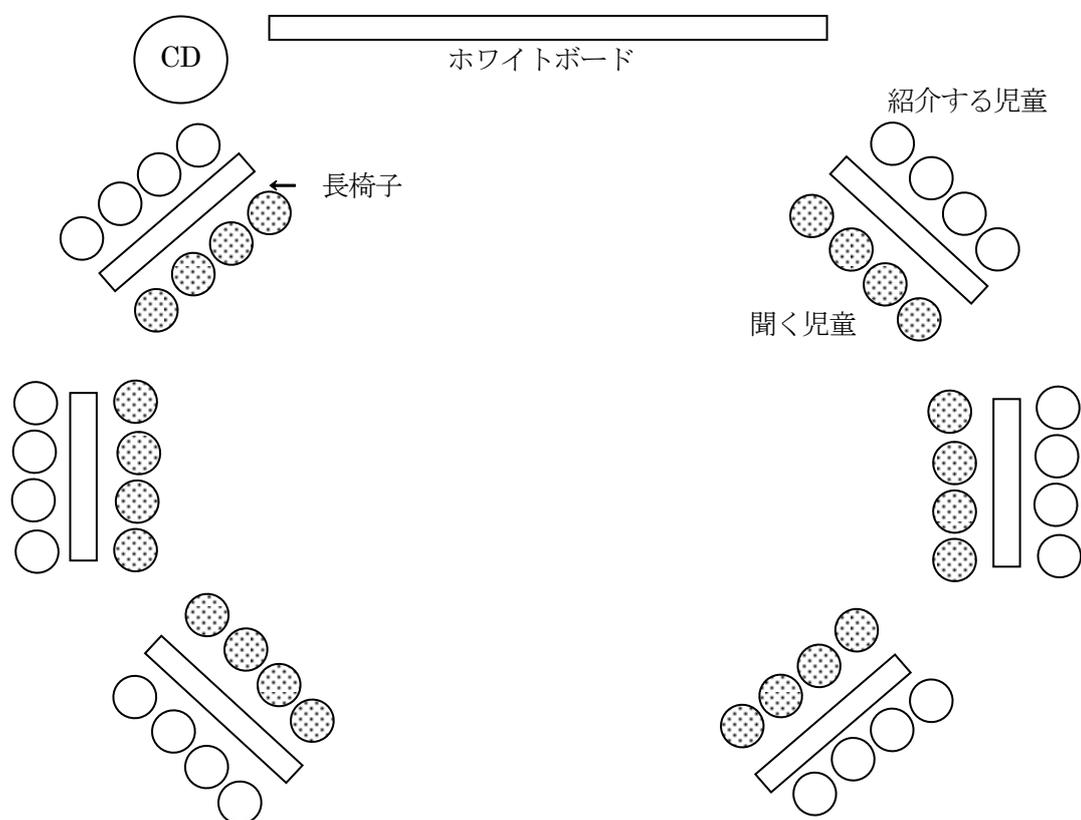
Let's go to 

6 - Name _____

① あいさつ
② 自己紹介
③ 国の紹介
④ Thank you.

<場の設定>



Hi, friends! 2 Lesson 5 "Let's go to Italy."

ツアーガイドになろう 

Name ()

時間	めあて	Your Impressions
1	世界のいろいろな国の国旗やその国の有名なものについて知ろう	☆☆☆
		<i>Teacher's comment</i>
2	国名や行きたい国をたずねたり答えたりする表現に慣れ親しもう	☆☆☆
		<i>Teacher's comment</i>
3	行きたい国をたずねたり答えたりする表現を使って、友だちとおすすめの国を紹介し合おう。	☆☆☆
		<i>Teacher's comment</i>
4	ツアーガイドになり、友だちにおすすめの国についてわかりやすく伝えよう	☆☆☆
		<i>Teacher's comment</i>
<u>Lesson 5 全体を通して</u>		<i>Teacher's comment</i>